



VENUE | S3L-X System

素晴らしいVENUEのパワーをどこでも



Avid® S3L Systemはリリースした当初から、主要なフェスティバル、クラブ、ツアーなどあらゆる規模のパフォーマンスに対して高いサウンドクオリティ、パワー、ミキシング機能を提供することで、業界から注目を集めてきました。そして、そのS3Lシステムをさらに向上させた新しいVENUE | S3L-Xシステムは、ステージ、スタジオ、どんな場所にも、さらに高い多様性、信頼性、価値を提供します。

S3Lと同様、S3L-XはEthernet AVBネットワークで接続されたモジュラー式システムで、スケーラビリティに優れ、ライブショウを効率的にレコーディングおよびミキシングできます。そして、S3L-Xは、複数のS3L-Xシステム間で同じI/Oを共有できるため、自動ゲイン補正により、FOH、モニタリング、オンエアのワークフローを効率化します。加えて、VENUE | S3サーフェスとPro Tools® | Softwareをインストールしたノートパソコンだけで、レコーディング/ミキシング可能なモバイル・スタジオ環境を構築できます。

主な機能

- ・ メジャーな音楽イベントからクラブまで、小さなFOHスペースで、どこでも何でもミックス
- ・ 2式以上の複数のS3L-Xシステム間で同じI/Oを共有し、自動ゲイントラッキング
- ・ S3をスタンドアロンのミキシング・サーフェスおよび4x6オーディオ・インターフェースとして使用し、DAWセッションをミックス
- ・ 64ビットAAX DSPプラグインのサポートにより、最新のサウンド・プロセッシングを提供
- ・ 16~64までマイクプリ拡張可能: どんな規模のパフォーマンスにも対応
- ・ 優れたサウンドクオリティ、高い信頼性のEthernet AVB接続、シンプルな配線
- ・ S3Lと比べて2倍のRAM搭載により、パフォーマンス向上
- ・ ノートパソコンのEthernetポート経由で、直接Pro Tools (または他のDAW) に録音
- ・ 堅牢かつ強化されたエンジン設計により、ツアーでの移動でも安心
- ・ ノイズの少ないヘッドフォンアンプで確実なモニタリング

より良く、より大きなミックス

これまでの製品テクノロジーをベースにしたVENUE | S3Lは、ライブサウンド制作をあらゆる面から向上させます。複数システム間でのI/O共有、自動ゲイントラッキング、ライブショウやPro Toolsセッションのミックス、64ビットAAX DSPプラグインなど、完璧なミックスを制作するために必要なサウンド処理能力とオプションを提供する、最新64ビットOSの最先端テクノロジーを備えています。強化されたハードウェア・エンジンでツアーや出先など安心してどこにでも持ち出せます。2倍に増えたRAMで、最高のパフォーマンスを体験できます。加えて、VENUE | S3サーフェスのヘッドフォン・アンプが新しい出力、低ノイズに改良され、サウンドクオリティが向上しました。

高い将来性

S3L-Xシステムはモジュール式、オープン・ネットワーク・アーキテクチャを採用し、Ethernet AVBやHDXテクノロジー、浮動小数点演算といった革新技術に加え、AAXプラグインやEUCON™ サポートにより、現在はもちろん将来の技術にも対応する多様性と拡張性を備えたソリューションです。

シンプルで、コスト削減も可能

S3Lなら、Ethernet AVB経由で2式あるいは複数のシステム間で1つのI/Oをボックスを共有できるため、FOH、モニター、オンエア設定間でソースフィードを共有するためのスプリッターが必要ありません。I/Oやケーブル、セットアップ時間、輸送費用にかかる負担が軽減でき、最も要件の厳しいワークフローにおいてもS3L-Xはその価値を発揮します。加えて、ネットワーク接続された全システム間で各チャンネルに対して自動ゲイントラッキングと補正されるので、他のエンジニアが共有するI/Oのマイクプリアンプレベルを変更しても自分のシグナルレベルは保たれます。

どこに行っても自由にコントロール

コンパクトながらも十分な機能を搭載するS3L-Xシステムなら、ライブ、ツアーバス、億音スタジオ、ホテルの部屋など、どんな場所でも、クリエイティブな作業が可能になります。乗用車や晩、トラック、バス、飛行機などに簡単に積むことができるため、楽に運搬ができ、あらゆる規模の儀具に対応可能な、費用効果の高い理想的なミキシング/レコーディング・システムです。

スタジオ品質のミックスをライブで制作

プロフェッショナル・レベルのI/O、トランスペアレントなプリアンプ、全チャンネルアウトプットにもEQとダイナミクス。卓越したサウンドを提供するS3L-Xは、64ビットAAX DSPプラグインを直接サポートしており、今日の業界トップのレコーディングスタジオが使用するクリエイティブ・ツールを提供するほか、かさばる外部機器や扱いにくい外部プラグインの効果的な代替ソリューションとなります。様々な要望に応える豊富なAAXプラグインを同梱しているため、アーティストの特定のスタジオ・サウンドをライブで再現したり、ミックスをよりクリエイティブにしたいときに最高のサウンドを実現できます。

詳細は、avid.com/JP/products/S3L-X-System をご覧ください。

VENUE | S3L-X System – 素晴らしいVENUEのパワーをどこでも

Pro Tools/DAWとのタイトな統合

ライブセッションのレコーディングが簡単になります。(Pro Toolsや他のDAWをインストールした)ノートパソコンを、(Cat5eケーブル1本で) S3L-Xシステムに接続するだけで、64トラックのオーディオ録音/再生が可能に。ライブ・ミキシングや録音/再生の設定はVENUE Linkでひとつにまとめられ、簡単にコントロールできます。さらには、全体または各チャンネルごとにバーチャル・サウンドチェックできるため、演奏者は事前レコーディングしたトラックを使ってサウンドチェックすることが可能です。さらに、スタンドアロンでVENUE | S3コントロールサーフェスを4x6オーディオ・インターフェースとして使い、Pro Tools、Logic、Cubase、その他DAWセッションのレコーディング/ミキシングにすることもできるなど、多様な使い方が可能です。

負担のかからない拡張機能

S3L-Xシステムは、制作ニーズに合わせて簡単に拡張することができます。16チャンネルのI/Oを備えたStage 16ボックスを最大4台(最大64チャンネル)まで接続できます。管理しやすいI/Oを1箇所内のラックにまとめたり、各ボックスを会場に分散してなるべく音源の近くに設置するなど、最大100メートル(328フィート)の距離まで自由に配置できます。1つのI/Oを1つあるいは複数のシステムで共有すれば、FOH/モニター/オンエア・ワークフローを効率化できます。そして、Ethernet AVB接続なら、必要なのは軽くて低価格なCat5eケーブルだけ。高価でかさばるアナログケーブルはもうありません。

使いやすく効率的なVENUEソフトウェア

Avidのライブサウンド・システムは全て共通のVENUE | Softwareの下で動作します。VENUE | Softwareは使いやすく、効率的な新しい操作を提供し、システムのあらゆる機能への素早いアクセスと完全なコントロールを可能にします。コンソール上でボタンをひとつ押すだけで、あるいはクリーン上でクリックするだけで、入力、出力、スナップショット、デジタルパッチベイ、プラグイン、メディアなどにアクセスできます。さらに、どのVENUEシステムでも同じ操作が可能のため、VENUEショー・ファイルをどのシステムからでも読み込むことができます。

2トラックのUSB再生でショーをより充実

標準のUSBメモリをE3エンジンに接続すると、VENUE | SoftwareのMediaページから2トラックの再生と録音が素早く簡単にできます。プレイリストを使ってファイルを管理すれば、VENUEスナップショットをイベントにあわせて簡単に再生できます。バックグラウンド・ミュージックなどでの部分的なエフェクトやキューのトリガーに、またはミックスのステレオ録音のアーカイブにも最適です。

同梱

- VENUE | S3 コントロール・サーフェス
- VENUE | E3 エンジン
- VENUE | Stage 16 remote I/Oボックス
- VENUE | Software
- Pro Tools | Software
- AAX DSP プラグインバンドル
- ケーブル、アクセサリ、ガイド

システム仕様	
Avid VENUE S3 コントロール・サーフェス	
Channel strips/フェーダー	16 (ユーザー定義可能、最大6 フェーダー・バンク)
エンコーダー	合計32 (高解像度OLEDと3色表示のインジケータ付き) : 割り当て可能なエンコーダー x 16、チャンネル・コントロール・エンコーダー x 8、グローバル・コントロール・エンコーダー x 8
メーター	10セグメント・メーター x 16、プリフェーダーとポストフェーダーのメータリング・オプション付き
アナログ入力	合計4 : XLRマイク/ライン入力 x 2とTRSライン入力 x 2 (ライブおよびスタジオ用途)
アナログ出力	合計4 : 2 XLRライン出力 x 2とTRSライン出力 x 2で、録音デバイスまたは近距離モニタを接続
ヘッドフォン出力	レベル・コントロール付きヘッドフォン出力 x 1 (1/4インチTRS)
EUCON統合	S3をスタンドアロン・コントロール・サーフェスとして、Pro Tools (同梱) やその他EUCON対応DAWでの録音、編集、ミックスに使用。Ethernet AVB経由でS3をノートパソコン (非同梱) に接続するだけ
補助I/O	Gigabit Ethernet AVBポート x 2、USB 2.0ポート x 2 (キーボードとマウス接続)、フットスイッチ・ポート x 1 (1/4インチTRS)、コンソール・ライト用ポート x 2、Kensingtonロック・スロット
外形寸法 (高 x 幅 x 奥)	3.2 x 71 x 36.3 cm (1.3 x 28 x 14.3 インチ)
重量	6.2 kg (13.8 lbs)
VENUE E3エンジン	
ソフトウェア	VENUE Software : 64 bitビルトイン Windows OSで稼働
入力チャンネル	64 (フル・プロセッシング)
バス	AUXバス x 24、LCR、さらにモノラル・マトリクス x 8とVCA x 8
オンボードEQ	各入出力チャンネルに4バンドのパラメトリックEQを搭載
グラフィックEQ	16
オンボード・ダイナミクス	各入出力チャンネルにコンプレッサー/リミッターとエキスパンダー/ゲートを搭載
デジタル・プロセッシング	32-bit浮動小数点HDX
プラグイン対応	AAX DSP (Avidおよび3rdパーティ製AAX DSPプラグインをサポート)
Pro Toolsとの統合	Ethernet AVBネットワーク経由で最大64オーディオ・トラックの録音/再生 : Pro Toolsインターフェース不要
2トラックUSB	USBメモリを使ってのステレオ録音/再生 (トランスポートやプレイリストのVENUEソフトウェアへの統合)
アナログ入力	XLRマイク/ライン入力 x 4
アナログ出力	XLRライン出力 x 4
デジタルI/O	4チャンネルのAES3入力と出力 (XLR)
補助I/O	GPIO (イン x 2/アウト x 2)、ワード・クロックイン/アウト
その他接続	Gigabit Ethernet AVBポート x 3、ECx Ethernetポート x 1 (有線/無線のリモート・コントロール用)、DVIビデオポート x 1、USB 2.0ポート x 4 (背面 x 2、前面 x 1、内部 x 1)
外形寸法 (高 x 幅 x 奥)	8.8 x 48.3 x 37.1 cm (3.5 x 19 x 14.6 インチ)
ラックスペース	2U
重量	9.5 kg (21 lbs)
VENUE Stage 16 remote I/O	
アナログ入力	XLRマイク/プリアンプ x 16
アナログ出力	XLRライン出力 x 8
デジタル出力	4チャンネルのAES3出力
外形寸法 (高 x 幅 x 奥)	ブラケット/ハンドルの突起を含む寸法 (ラック取付け仕様) : 17.6 x 48.3 x 20.6 cm (6.9 x 19 x 8.1 インチ)、 ブラケット/ハンドルなし寸法 : 17.6 x 39.6 x 20.2 cm (6.9 x 15.6 x 7.9 インチ)
ラックスペース	4U
重量	71 kg (15.8 lbs)
接続	Gigabit Ethernet AVBポート x 2 (最大4つのStage 16ボックスをデザインチェーン可能)
スネーク・ケーブル・タイプ	シールド付き350 MHz Cat5e以上 (Neutrik etherCONコネクタ必須)
スネーク・ケーブルの最大長	100 m (328フィート)

詳細は、avid.com/JP/products/S3L-X-System をご覧ください。

アビッド テクノロジー株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂2-11-7 ATT新館ビル4F

© 2014 Avid Technology, Inc. 無断複製・転載を禁じます。プロモーションやディスカウント、製品の機能、仕様、システム要件、および販売形態は、予告なく変更されることがあります。Avid、Avidロゴ、EUCON、Pro Tools、Reel Tape Saturation、Revibelは、アメリカ合衆国あるいはその他の国におけるAvid Technology, Inc.やその子会社の登録商標または商標です。そのほか本書に記載されている商標はすべて、各所有者に帰属します。

S3L-XDS0914